

## みえ福祉第三者評価結果

① 第三者評価機関名

株式会社経営志援
----------

② 施設・事業所情報

名称：かすみヶ浦ブルーミングハウス	種別：生活介護・就労継続支援B型
代表者氏名：施設長 渡邊 淳	定員（利用人数）：生活介護 20名 就労継続支援B型 20名
所在地：三重県四日市市富士町8-5	
TEL：059-330-0327	ホームページ： <a href="https://www.blooming.or.jp/">https://www.blooming.or.jp/</a>
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日：平成11年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人四日市福祉会	
職員数	常勤職員： 7名      非常勤職員： 8名
専門職員	社会福祉士： 1名      精神保健福祉士： 1名
※重複あり	理学療法士： 1名      看護師： 1名
施設・設備の概要	3階建 作業室×2      食堂・事務室・相談室
	トイレ・男女ロッカー室      エレベーター、AED設置

③ 理念・基本方針

<p><b>【理念】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★周囲を大切に思い理解に努める</li> <li>★自立を支える</li> <li>★より多くを学び成長する</li> </ul> <p><b>【基本方針】</b></p> <p>事業の効率化と安心・安定運営の継続を目指す</p> <p>★近年、職員の育休や休職、異動などが重なり、経験年数の浅い職員が現場に多く、作業の対応や利用者さんの重度高齢化への対応が急務とされるため、利用者さんや職員の適性を良く見極めて適材適所に配置することで業務の効率化を図り、安心・安全に事業を継続できるように努める。</p>
---

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年培ってきた生産技術で受注先や消費者へ高品質な製品を提供している。高い生産性と技術力、納期厳守を徹底し、安心・安全・高品質のブルーミングと高評価を得ている。</li> <li>・業務改善にも注力し、毎月ヒヤリハット・業務改善会議、定期職場巡回を行い、利用者や職員が安心して働けるような職場環境の整備に努めている。</li> </ul>
--

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年12月26日（契約日）～ 令和5年6月9日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	3回（平成30年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### 【働きやすい環境の整備】

職員の時間外勤務の削減として、内勤時間の確保や支援記録の共有化を図っている。また、リフレッシュ休暇や時間有休、半日有休、ストレスチェックの実施や苦情・ハラスメントの相談窓口の設置、資格取得に向けたチャレンジ全額給付や資格手当の支給など、法人全体および事業所において働きやすい職場づくりに力を入れている。職員からも有休がとりやすい、風通しが良い、コミュニケーションが良好との意見があり、満足度が高い。

#### 【安心・安全なサービスの提供に向けた組織的な取組】

利用者が安心・安全に過ごすことができるよう、リスクマネジメント体制を整えている。毎月のヒヤリハット会議や建物内を巡回することで、いろいろな視点から支援方法や作業環境等が確認と改善への気づきを得ることができ、継続的な改善に繋げている。事故発生時の対応マニュアルは改良され、わかりやすい。また、感染症対策では、特に新型コロナウイルス対策に努め、利用者の感染はいまだ発生していない点は評価が高い。

### ◇改善を求められる点

#### 【事業計画の策定】

法人の中・長期事業計画は策定されているが、事業所独自の中・長期事業計画のおよび中・長期収支計画の策定に期待したい。策定にあたっては、多くの職員が策定過程に関与し、課題を共有しながらボトムアップで計画が策定できる仕組みがあると良い。

#### 【利用者満足の向上に向けた組織的な取組】

利用者の要望や希望を聴く機会が多く設けているが、事業所のサービスに関する満足度調査自体は行われていない点は、改善が望まれる。事業所に対する満足度調査が組織的に行われ、より利用者や保護者の満足の向上に繋がることに期待したい。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・今回、3回目の受審だったが、まだまだ事業所として改善すべき点が多かった為、今回の結果をもとに、再度見直し、改善すべき点は改善し、利用者さん職員ともに安心・安全に過ごせる施設を目指していこうと改めて思いました。

・現在の仕組みでは、非常勤職員へのアプローチが不十分である為、もっと非常勤職員が支援に対して参加できるような仕組みを作っていく必要があり、大きな課題であると感じました。事業所内の全職員が課題を共有し、ボトムアップを目指していきます。

・コロナ禍ということで、3年程は行事などの余暇活動ができない状況が続いていました。徐々にコロナ前の状況に戻れるように、少しずつ行動範囲を広げ、より利用者さんが楽しめるような活動を提供してきたいと思います。普段は、作業中心ですが、楽しいことを上手く取り入れながら、メリハリのある支援を行っていきたいと思います。また、内容を充実させるためにも、今回指摘のあった、利用者さんへのアンケートを充実させ、今よりも多く、利用者さんの意見を活動に反映させていこうと思います。

#### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。